「物体まわりの流れと抗力」　プレゼンテーションについて

以下の課題について資料を作成し発表してもらう．また質疑応答に答える必要がある．どの課題を担当するかは，実験終了時に指示する．まず与えられた課題を良く考え理解し，それを他人にわかりやすく説明すること．
（発表時間 7 分，質疑応答 3 分）

課題
1. 実験１（天秤による抗力の測定）の実験方法とその結果について
2. 実験２（円柱まわりの圧力測定）の実験方法とその結果について
3. 抗力と揚力について
4. 摩擦抵抗と圧力（形状）抵抗について
5. 一様流中に置かれた円柱まわりの理想流体の流れについて
6. 動圧と抗力係数について
7. 圧力測定について，特にマノメータについて
8. 剥離の発生するメカニズムについて（逆圧力勾配）
9. 層流境界層と乱流境界層，およびそのはく離について

参考文献
　流体力学（シンプルにすれば「流れがわかる」），実教出版
　流体力学　JSME テキストシリーズ，日本機械学会

なおプレゼンテーションの開始前（12：45〜13：15）には課題演習を行う．流体力学のテキスト（JSME テキストシリーズ「流体力学」）を持参すること．

採点基準，合格の基準
プレゼンテーションは ABCD で評価され，D（不十分）は不合格で再プレゼンテーションとなる．
A：優秀（与えられた課題をきちんと理解し，他人に分かりやすく説明できる．資料の作成，準備等に十分な時間をかけている．）
B：良好（与えられた課題を理解し，他人に説明できる．）
C：やや不十分（最低限の理解と最低限の説明がされている．）